## 経営戦略セミナー

開催 日：令和4年2月12日（土）
会 場：オンライン開催
参加者数：42名

## 研修認定委員会より

本セミナーでは管理者はもちろん，現場の各種専門職リーダーとして，求 められる機能の理解や効果的•効率的運用など全体のマネジメントにつなが るセミナーとして企画しました。

研修内容では生産性向上やBCP，改定による影響など運営に直結する内容 の説明をいただき，アンケートからグ ループワークでの事業所通しの意見交換に満足度の高い感想をいただいてい ます。

 とを目的としており，求まられている機能の理解を はじめ，生産性向上，扸果的かつ効率的な加算算定 や勤務全体のマネジメシントの実䛾報告を通して実用的な内容を企画しました。また，意見交換の時間を設けでおり，問題共有と情報収集も本セミナーの魅 カのひとことなっておりますので，管理者はもちろ んのこと，現場の各璉專門棫をで堛広く学べるゃミ サーです。



様々な場面でのリハ会議•医師の説明


居宅でのリ八会議と医師の説明


通所り八時の医師の説明


施設でのリハ会議と医師の説明


リモートでのリノ会議•医師の説明


併設医療機関外来受診後 のリノ会議と医師の説明


短期入所時の医師の説明

## つながるリハの実施要領

## 訪問リハビリの開始

- 課題•目標に対する適応的リハの提供
- 全例でIADL•屋外活動に延伸された支援


訪問期間：平均72．1日
訪問リハビリの終了

- 終了後のサービス見直し
- 入院チームへのフィードバック


## そして，選ばれる事業所であるために

－利用したいとき，タイムリーに利用が始められる
＞増収＝経営改善ではない
＞増収しても，収支差が増益になる必要がある
（増収減益にならないために……）
＞介謢職員処遇改善加算は事業所に1円も残らない。
基本的に介護職員限定の賃金である（1年以内に支出される）。
事業収入と分けて考える必要がある。
そのためには，それぞれの事業所特性に応じた現場での効率的な役割分担（限りある資源配分）が必要。

- 医療必要度の高い方でも受け入れている
- 各専門職が高い専門性をもって対応している
- 積極的に関係機関と連携している
- ひとり一人をよく理解し，個別性豊かに対応している
- 住み慣れた地域で暮らし続けることを大事にしている


## グループワークを通じて共有•解決へ

## 事業所の数だけ讕題がある

『ボス』と『リーダー』

- 経営方針が確立されていない
- 教育体制が万全ではない
- 労務管理がなされていない
- 利用者が増えない 収益性が低い

■ 収入と支出のバランスが悪い
■ スタッフが定着しない 新規雇用がうまくいかない
■ スタッフが大事にされていない
－リハマインドがない
－時代に乗れていない

| ボス | リーダー |
| :---: | :---: |
| 部下を追い立てる | 人を導く |
| 権威に頼る | 志•善意に頼る |
| 恐怖を吹き込む | 熱意を吹き込む |
| 「私」という | 「我々」という |
| 「時間どおりに来い」という | 時間前にやってくる |
| 失敗の責任を負わせる | 黙って失敗を処理する |
| やり方を胸に秘める | やり方を具体的に教える |
| 仕事を苦役に変える | 仕事をゲームに変える |
| 「やれ！」という | 「やろう！」という |

